

2021年度 日本水産工学会秋季シンポジウム 海洋プラスチック問題と漁業における対策

1. 海洋プラスチックごみと漁業系廃棄物を巡る最近の情勢

海洋プラスチックごみ対策アクションプランとプラスチック資源循環

櫻井 希実(環境省海洋プラスチック汚染対策室)

漁業における海洋プラスチックごみ問題と漁業系廃棄物の処理

吉川 千景(水産庁漁場資源課)

2. 海岸漂着ごみ、漂流ごみ、海中ごみにおける

漁業系海洋プラスチックごみの実態

海岸漂着ごみにおける実態 小島あずさ((一社)JEAN)

沿岸、沖合域の漂流ごみ、海底ごみにおける実態

内田 圭一(東京海洋大学)

3. 漁業による海洋ごみ回収の取り組みの事例

宗像における漁業者による海洋ごみ回収の取り組み

権田 幸祐(一般社団法人シーソングプロジェクト)

八戸港SDGs宣言 底曳網による回収の取り組み

野田 一夫(八戸商工会議所水産部会)

地方自治体でのアンケートの結果およびそこからみた取り組みの課題

入江 正己(三洋テクノマリン株)

4. 漁業系廃棄物のリサイクルなど処理や

漁具への生分解性素材利用などの技術開発とその促進に向けて

廃棄漁網を原料としたリサイクルの現状と可能性

玉城 吾郎(リファインバース社)

漁網のマテリアルリサイクルと海洋資材のバイオプラスチック化の試み

熊澤 泰生(ニチモウ株)

海洋プラスチックごみ、漁業系プラスチック廃棄物を

再生利用した製品のエコマーク認定基準について

漣 友行((公財)日本環境協会エコマーク事務局)



2021年

12月4日(土)

10:00~17:00

参加費無料



申し込みは
こちら

事前登録制

オンライン方式

(Cisco WeBex Events)

海洋プラスチックごみ問題と漁業との関わりを整理し、現状を認識するとともに、漁業活動で取り組むべき課題やその具体的な方策、さらには必要とされる技術開発などについて意見交換をおこないます。

【問い合わせ先】

国立大学法人 東京海洋大学

東海 正, 塩出 大輔

TEL:03-5463-0477(直)

E-mail: JSFE2021sympo@gmail.com

コンビナー 東海 正(東京海洋大学)
山本 隆久(水産庁企画課)

櫻井 希実(環境省海洋プラスチック汚染対策室)
熊澤 泰生(ニチモウ株式会社)

【※CPD認定について※】

本シンポジウムは土木学会のCPD認定を取得しています(土木学会認定継続教育プログラム 認定番号:JSCE21-1309(単位5.4))。認定の手続きにつきましては、シンポジウムの当日にご案内いたします。なお、土木学会のCPD単位が、他団体が運営するCPD制度に認められないことがあります。申請団体に事前にご確認ください。

